

『地域共生社会の実現に向け福祉でまちづくりをめざす』

鹿部町地域福祉 実践計画

(令和4年度～令和8年度)



令和4年3月策定

社会福祉法人 **鹿部町社会福祉協議会**

～地域福祉実践計画の策定にあたって～

社会福祉法人 鹿部町社会福祉協議会
会長 松本 善一



社会福祉協議会は、地域福祉を推進する団体と言われます。福祉の意味として色々ございますが、簡単に言いますと「みんながより幸せに暮らすことができる」という意味になります。

年齢や障がい等に関係なく誰もが住み慣れた地域で安心・安全に生活する事ができる「福祉のまち」になる為、障壁となっている地域課題を地域住民と多様な関係する団体等で解決に向けて取り組むことです。

近年は、情報通信技術が進歩し、現在は場所や時間を問わず効率的に仕事や生活する事を可能にし、私達に大きな恩恵をもたらしています。

便利な世の中になる一方で、地域では少子高齢化や人口減少が進行し、住民同士の関係が希薄化し、日常生活の様々な場面でこれまで出来ていたことが出来なくなってきました。

また、令和2年に拡大した新型コロナウイルス感染症は、更に格差や差別、孤立を際立たせており、時間の経過とともに新たな課題や求められる福祉ニーズは多種多様化しております。

このような状況を踏まえ、鹿部町社会福祉協議会では、第3期鹿部町地域福祉実践計画（平成29年度～令和3年度）に対する結果を基に精査し、第4期鹿部町地域福祉実践計画（令和4年度～令和8年度）を取りまとめ致しております。

本計画の策定にあたり、アンケートへのご協力を頂きました町民の皆様にご礼申し上げます。同時に、計画の実現に向け、関係機関・団体の方々にご支援賜りますようお願い申し上げます。

目次

1	はじめに	1
2	鹿部町の現在の住環境	1
3	第3期鹿部町地域福祉実践計画の検証	1~3
	基本計画【1】 地域課題を発見・共有し、解決していく ための体制づくり	2
	基本計画【2】 住民一人ひとりの生活課題を受け止め、 解決していくための体制づくり	2
	基本計画【3】 自立と社会参加の促進	3
	基本計画【4】 課題への柔軟対応と解決していくための 組織づくり	3
4	アンケートの結果	3~9
5	課題の整理	9~10
6	実践計画	10~11
	【1】 基本目標 『地域共生社会の実現に向け福祉でまち づくりをめざす』	10
	【2】 基本計画	10~11
	① 相談援助の充実	10
	② 支え合い活動の推進	10~11
	③ 高齢者の生きがいづくり	11
	④ 情報収集と発信力の強化	11
7	実施計画書	11~12

1 はじめに

鹿部町社会福祉協議会が策定する第4期鹿部町地域福祉実践計画は、福祉のまちづくりを目指す令和4年度から令和8年度迄の5ヶ年計画になります。

鹿部町策定の地域福祉計画で示されている方向性と全道共通目標の「地域共生社会の実現に向け福祉でまちづくりをめざす」の視点に立ち、地域における計画的な活動の展開、体制や基盤づくり等、今後の福祉事業を展開する上の指針として作成致しております。

地域福祉実践計画策定にあたっては、前期の第3期鹿部町地域福祉実践計画の評価や住民意識アンケートの結果を基に実践計画（案）を作成し、理事会・評議員会において関係団体と協議・調整を図りながら策定致しております。

表現については、なるべく分かりやすい言葉を使用致しております。

2 鹿部町の現在の住環境

鹿部町の人口は、令和3年12月現在、約3,727人、世帯数は、1,849世帯、高齢化率は39.4%となっており、この5年間で人口が355人、世帯数は4世帯減少し、高齢者率は3.5%上昇しております。

町内には、26の町内会が存在し、社会福祉施設等の整備状況としては、特別養護老人ホームが1ヶ所、デイサービスセンターが1ヶ所、認知症グループホーム・小規模多機能ホームが1ヶ所、地域包括支援センターが1ヶ所、医療機関については、診療所が2ヶ所、歯科医院が1ヶ所となっており、前回策定時（平成29年3月）と変動ありません。

町内の交通はバスとJRが運行しており、バスは函館～鹿部間（大沼経由・南茅部経由）の便と令和3年5月からは町内主要箇所に停車する鹿部駅線（しかバス）が運行、JRは、函館方面と森・長万部方面行きの函館本線（砂原経由）の便が運行され、令和3年12月からはタクシーも運行しております。

3 第3期鹿部町地域福祉実践計画の検証

前回作成した地域福祉実践計画の達成度合いについて、職員内で評価と今後の方向性について検証（自己評価）致しました。

事業評価（5段階判定）

5=目標を大幅に上回り実施出来た

今後の方向性（5種類）

拡充=事業をより一層充実する

4=目標を上回り実施出来た
 3=目標どおり実施出来た
 2=目標に到達出来なかった
 1=まったく実施できなかった

継続=事業を引き続き実施する
 統合=複数の事業を整理統合する
 縮減=事業を見直し、縮減する
 廃止=事業の目的が達成されたため、
 廃止又は休止する

基本計画【1】 地域課題を発見・共有し、解決していくための体制づくり

重点項目① 要援護者(高齢者や障がい者等)の支援		
具体的事業	平均判定	方向性
地域住民の生活課題の発見と把握	3.0	継続
小地域活動の推進	2.6	継続・拡充
町内の団体や行政等の関係機関との連携	2.8	継続・拡充
(評価) 支援を必要とする個人の生活課題は一定程度把握されていますが、町内会単等の住民同士の連携は深める必要があります。		
重点項目② ボランティア実践者の発掘と育成支援		
福祉・ボランティア団体への活動支援	3.0	継続
ボランティアリーダーの発掘と育成	2.6	継続
(評価) ボランティア活動をする個人は増えつつありますが、意識の醸成を含め、未だ不足している部分が多い為、活動実践者への支援や地域住民に対する働きかけが必要です。		

基本計画【2】 住民一人ひとりの生活課題を受け止め、解決していくための体制づくり

重点項目③ 訪問介護等関係事業の利用促進		
具体的事業	平均判定	方向性
訪問介護事業の推進	2.4	継続・拡充
地域自立生活支援事業の活用促進	3.0	継続・縮減
自家用有償旅客運送事業の実施	2.8	継続・縮減
(評価) 町内の交通環境の整備により、実施するサービスに変化が生じておりますが、在宅生活の維持には訪問介護事業が不可欠と考えております。		
重点項目④ 自立した日常生活を維持するための支援		
応急生活(現:自立支援)資金等貸付事業の実施	3.2	継続
生活福祉資金貸付事業の利用促進	3.2	継続
成年後見制度と日常生活自立支援事業の推進	2.6	継続・拡充
車椅子等の貸し出し	3.0	継続
(評価) 資金や福祉用具の貸付については、実践出来ておりますが、権利擁護の面では利用者 と支援者に対する制度の普及啓発等、事業をサポートする体制の整備が必要です。		

基本計画【3】自立と社会参加の促進

重点項目⑤ 高齢者の健康増進と生きがいづくり

具体的事業	平均判定	方向性
ひとり暮らし高齢者お楽しみ会の開催	2.8	継続
給食配送(現:安否確認お食事)サービスの実施	3.2	継続・拡充
ふれあいいきいきサロンの開催	3.0	継続・拡充
高齢者夫婦世帯ふれあいの集いの開催	2.8	継続・統合

(評価)高齢者に対する事業の浸透は出来ていると思います。町内に存在する他事業の実施状況に合わせ、対象者や内容等を更新して事業を継続する必要があります。

基本計画【4】課題への柔軟対応と解決していくための組織づくり

重点項目⑥ 社協事業についての地域住民への周知・広報強化

具体的事業	平均判定	方向性
広報誌の発行	3.0	継続
赤い羽根共同募金運動の推進	3.0	継続・拡充
会員の加入促進	2.5	継続・統合

重点項目⑦ 地域住民に信頼される組織体制の強化

理事会・評議員会の機能強化	2.8	継続
個人情報 の適正な管理	2.5	継続・拡充
苦情解決第三者委員による福祉サービスの苦情解決	3.0	継続

(評価)地域住民に社協事業の理解と信頼が深まるよう、役職員が一体となり、地域福祉充実に向けた取組みを行ない続けます。

4 アンケートの結果

鹿部町地域福祉実践計画策定のための住民意識アンケートを下記のとおり実施致しました。

記

実施期間：令和3年9月21日～令和3年11月30日

対象者：住民基本台帳から無作為抽出した20代～70代の各世代50名ずつ、
合計300名にアンケートを送付(返信用封筒同封)

回答者：103名(回答率34.3%)

- 質問内容：・年齢、世帯構成など基礎的なこと(9問)
・地域活動、地域福祉活動への参加(12問)
・災害時の対応(2問)
・鹿部町の福祉(8問)
・鹿部町社会福祉協議会に対するご意見(1問)

【アンケート質問・結果(割合)】

Q1	あなたの性別はどちらですか？
A	①男性:39名(37.9%) ②女性:64名(62.1%)
Q2	あなたの年齢は何歳ですか？
A	①20代:11名(10.7%) ②30代:14名(13.6%) ③40代:12名(11.7%) ④50代:16名(15.5%) ⑤60代:23名(22.3%) ⑥70代:27名(26.2%)
Q3	あなたの住んでいる地域を教えてください。
A	①大岩:1名(1.0%) ②鹿部:17名(16.5%) ③宮浜:43名(41.7%) ④本別:19名(18.4%) ⑤リゾート:23名(26.2%)
Q4	あなたは鹿部町に居住して何年になりますか？
A	①1～5年:3名(4.0%) ②5～10年:7名(6.9%) ③10～15年:13名(12.9%) ④15～20年:8名(7.9%) ⑤20～30年:26名(25.2%) ⑥30年以上:44名(43.7%)
Q5	あなたのご職業は何ですか？(複数回答可)
A	①水産業:5名 ②自営業:9名 ③公務員:4名 ④会社・団体職員:17名 ⑤パート・アルバイト:18名 ⑥家事手伝い:6名 ⑦無職:37名 ⑧学生:2名 ⑨その他:8名
Q6	あなたの世帯構成は次のどれですか？
A	①単身世帯:11名(10.7%) ②夫婦世帯:47名(45.6%) ③親子2世代:36名(35.0%) ④親子孫3世代:6名(5.8%) ⑤その他:2名(1.9%) ※未回答:1名(1.0%)
Q7	あなたの家族の中で高齢や障がいなどのために介護が必要な方はいますか？
A	①いる:13名(12.6%) ②いない:90名(87.4%)
Q8	あなたは近所の方とどの程度お付き合いをしていますか？
A	①近所を行き来するなど親しい付き合い:18名(17.5%) ②顔が会えば立ち話をする程度:38名(36.9%) ③挨拶をする程度:37名(35.9%)

Q9	あなたの住んでいる地域で、気になるところはありますか?(3つまで選択可)
A	①住民間のコミュニケーションがとりにくい:12名 ②地域の活動が活発でない:9名 ③自然や歴史・伝統文化が少ない:4名 ④買い物など日常生活が不便である:34名 ⑤病院や診療所など医療機関が遠い(少ない):55名 ⑥保育所や介護施設など福祉施設が遠い(少ない):15名 ⑦学校や公民館、集会場など公共施設が整備されていない:1名 ⑧駅などが遠く、交通が不便である:33名 ⑨公共施設や交通機関等のバリアフリーが進んでいない:6名 ⑩その他:8名
Q10	あなたは、地域の行事や活動にどの程度参加していますか?
A	①積極的に参加している:5名(4.9%) ②ときどき参加している:36名(35.0%) ③あまり参加していない:30名(29.1%) ④参加していない:32名(31.1%)
Q11	あなたは普段、地域のどのような活動に参加していますか?(該当するものすべて選択)
A	①町内会・老人クラブ・女性会活動:26名 ②子供会・PTA等の活動:8名 ③祭りや伝統行事:15名 ④防犯・防災、交通安全活動:11名 ⑤文化サークル活動、レクリエーション活動:13名 ⑥福祉ボランティア活動:5名 ⑦消費者運動、環境美化・リサイクル、自然保護活動:3名 ⑧その他:2名 ⑨参加していない:48名
Q12	【Q11で『参加していない』と答えた方(48名)への質問】参加していない理由は何ですか?(該当するものすべて選択)
A	①興味のある活動や行事が無いから:10人 ②人との関わりをあまり持ちたくないから:6名 ③情報が入りにくいから:8名 ④時間的な余裕がないから:26名 ⑤健康に自信がないから:5名 ⑥知らない人ばかりで参加しにくいから:11名 ⑦その他:4名
Q13	あなたはボランティア活動に参加したことがありますか?
A	①参加している:16名(15.5%) ②以前参加したことがある:15名(14.6%) ③参加したことがない:68名(66.0%) ※未回答:4名(3.9%)
Q14	【Q11で『参加している』、『以前参加したことがある』と答えた方(31名)への質問】あなたは、どのようなボランティア活動をしてきましたか?(該当するものすべて選択)
A	①高齢者の援助:5名 ②障がい者(児)の援助:1名 ③子育ての支援や子どもの世話:3名 ④自然や環境保護に関する活動:2名 ⑤国際交流に関する活動:2名 ⑥スポーツ・文化に関する活動:5名 ⑦青少年の健全育成に関する活動:1名 ⑧まちづくりに関する活動:3名 ⑨自治会活動(町内会活動等):16名

Q15	【Q13で『参加したことがない』と答えた方(68名)への質問】ボランティア活動に参加したことが無い理由は何ですか?(該当するものすべて選択)
A	①仕事や家事で忙しいから:42名 ②体が弱い、病気がちであるから:5名 ③興味や関心がないから:11名 ④高齢者や病気の家族の世話をしているから:3名 ⑤活動内容や参加方法が分からないから:16名 ⑥その他:4名
Q16	あなたはこのアンケートにご回答前に「地域福祉」という言葉をご存知でしたか?
A	①知っていた:67名(65.0%) ②知らなかった:33名(32.0%) ③未回答:3名(3.0%)
Q17	あなたは「地域福祉活動」に対し関心がありますか?
A	①非常に関心がある:7名(6.8%) ②どちらかというに関心がある:40名(38.8%) ③どちらかといえば関心がない:41名(39.8%) ④関心がない:14名(13.6%) ※未回答:1名(1.0%)
Q18	【Q17で『どちらかといえば関心がない』、『関心がない』と答えた方(55名)への質問】関心がないのは、どのような理由からですか?
A	①地域のことに関わりたくないから:6名 ②時間的余裕がないから:31名 ③健康に自信がないから:12名 ④地域をよくするのは行政の役割だから:4名 ⑤その他:5名
Q19	あなたは鹿部町社会福祉協議会を知っていますか?
A	①名前も活動も知っている:39名(37.8%) ②名前は聞いたことがあるが、活動内容は良く分からない:47名(45.6%) ③名前も活動内容も知らない:12名(11.7%) ※未回答:5名(4.9%)
Q20	【Q19で『名前も活動も知っている』と答えた方(39名)への質問】あなたが知っている鹿部町社会福祉協議会の事業は何ですか?(該当するものすべて選択)
A	①赤い羽根共同募金:28名 ②ふれあいいいききサロン:24名 ③小地域福祉活動:1名 ④広報誌発行事業:13名 ⑤訪問介護(ヘルパー)事業:30名 ⑥安否確認お食事サービス:19名 ⑦ひとり暮らし高齢者お楽しみ会:23名 ⑧高齢者夫婦世帯ふれあいの集い:9名 ⑨自立支援資金貸付事業:5名 ⑩生活支援体制整備事業:9名 ⑪福祉有償運送事業:16名
Q21	あなたは、地域の民生委員児童委員を知っていますか?
A	①地域の民生委員児童委員も活動内容も知っている:13名(12.6%) ②地域の民生委員児童委員は知っているが、活動内容は知らない:36名(35.0%) ③地域の民生委員児童委員は知らないが活動内容は知っている:8名(7.8%) ④地域の民生委員児童委員も活動内容も知らない:41名(39.8%)

	※未回答:5名(5.0%)
Q22	地震・噴火など災害が発生した時、あなたはどのように避難しますか？
A	①自分一人で避難できる:87名(84.5%) ②同居家族や近所の人などの介助があれば避難できる:11名(10.7%) ③避難できない:3名(2.9%) ④未回答:2名(1.9%)
Q23	災害が発生した時、自力で避難出来ない方など手助けが必要な方に対する支援の取組について、あなたはどのように思いますか？
A	①自主防災組織や町内会など地域で取り組んでいくことが望ましい:23名(22.3%) ②地域と行政が協力して取り組んでいくことが望ましい:41名(39.8%) ③プライバシーの問題があるので、行政が中心となって取り組んでいくことが望ましい:9名(8.7%) ④行政、民生委員児童委員、町内会、社会福祉協議会の連携を深め、新たなネットワークを構築し支援を行うことが望ましい:27名(26.2%) ⑤そうした取り組みは必要ない:1名(1.0%)
Q24	あなたは鹿部町の福祉サービスや福祉施設などについて、どの程度知っていますか？
A	①十分な情報と知識があると思う:4名(3.9%) ②十分ではないが、ある程度の情報と知識があると思う:47名(45.6%) ③ほとんど知らない:46名(44.7%) ※未回答:6名(5.8%)
Q25	あなたは、福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか？(該当するものすべて選択)
A	①行政・社協広報誌:47名 ②新聞・雑誌・テレビ:19名 ③インターネット:19名 ④民生委員児童委員:0名 ⑤役場(包括支援センター):17名 ⑥社会福祉協議会:7名 ⑦福祉サービス事業所:4名 ⑧知人・友人:26名 ⑨医療機関:6名 ⑩その他:1名
Q26	あなたは、現在何らかの日常生活における支援を必要としている人が、十分な福祉サービスを受けていると思いますか？
A	①十分な福祉サービスを受けていると思う:7名(6.8%) ②十分な福祉サービスを受けているとは思えない:24名(23.3%) ③ある程度満足できる福祉サービスを受けていると思う:55名(53.4%) ④その他:8名(7.8%) ※未回答:9名(8.7%)
Q27	あなたが、福祉サービスを充実させるために、最も必要と思うものは次のどれですか？
A	①サービスを提供する事業所の数を増やす、設備を充実させる:30名(29.1%) ②サービス利用者を保護する権利擁護や苦情対応などの取組みを充実させる:9名

	<p>(8.7%)</p> <p>③住民による福祉活動(ボランティア活動など)を活発にさせる:6名(5.8%)</p> <p>④情報や知識を身に着けるための地域での学習機会を充実させる:13名(12.6%)</p> <p>⑤サービスに関する情報提供窓口を増やす:29名(28.2%) ⑥その他:6名(5.8%)</p> <p>※未回答:10名(9.7%)</p>
Q28	<p>みんなが助け合いながら安心して暮らすためには、今後どのようなことが重要だと考えますか?(3つまで選択可)</p>
A	<p>①住民一人ひとりの人権の尊重と権利擁護の意識づくり:14名</p> <p>②地域住民の誰もが共に支え合う地域づくり:43名</p> <p>③地域福祉に対する様々な情報提供の充実:40名</p> <p>④地域住民のみんなが参加できる自立した住民自治の地域づくり:6名</p> <p>⑤男女が共に協力する男女共同社会の推進:10名</p> <p>⑥地域の歴史や文化を大切に作る地域づくり:5名</p> <p>⑦自治会などの住民組織や福祉を支える専門職や住民リーダー等を育てること:18名</p> <p>⑧近所同士や親同士の地域の繋がりを大切にし、困っている人を見守り、支え合うこと:36名</p> <p>⑨学校や地域での福祉教育をすすめ、地域福祉への理解を深めること:28名</p> <p>⑩その他:2名</p>
Q29	<p>高齢者や障がい者(児)が住みよいまちをつくるため、今後どのようなことが重要だと考えますか?(3つまで選択可)</p>
A	<p>①高齢者や障がい者を住民みんなで支える地域づくり:28名</p> <p>②ふれあいや交流づくりをすすめる:18名</p> <p>③日頃から健康づくりなどを進めるなど要介護などにならない生活支援の充実:32名</p> <p>④高齢者や障がい者の雇用対策や生きがいづくりなど自立を支える体制づくり:24名</p> <p>⑤高齢者や障がい者が利用しやすい道路など公共施設の改善(バリアフリー化):19名</p> <p>⑥高齢者や障がい者福祉を支える専門職や住民リーダーなどを育てること:14名</p> <p>⑦高齢者や障がい者福祉に関して気軽に相談できる窓口をつくること:56名</p> <p>⑧防犯、防災など安全で安心できる生活環境づくり:27名</p>
Q30	<p>子供を健やかに育てるために、今後どのようなことが重要だと考えますか?(3つまで選択可)</p>
A	<p>①安心して子どもを産み育てられる生活環境の整備:47名</p> <p>②保育所や幼稚園の保育時間や内容の充実:36名</p> <p>③子どもの健やかな成長・発達への支援体制の整備:19名</p> <p>④地域社会で子育て支援ができる環境の整備:23名</p>

	⑤子どもの自主性や社会性の育成ができる環境の整備:23名 ⑥登下校時や遊び場において安全で安心できる環境づくり:30名 ⑦放課後児童クラブの充実など、子どもが安心して遊べる場をつくる:27名 ⑧子育て支援など児童福祉を支える専門職や住民リーダーなどを育てること:9名 ⑨児童福祉に関して気軽に相談できる窓口をつくること:27名 ⑩その他:2名
Q31	あなたは、地域福祉を推進するため、今後どのようなことが重要だと考えますか？ (3つまで選択可)
A	①福祉意識を高めるための広報、啓発の強化:25名 ②学校教育や社会教育での福祉教育の充実:38名 ③町民が気軽に参画し、利用できる地域ごとの福祉活動の拠点づくり:35名 ④地域における福祉活動の活動費や運営費に対する資金助成:15名 ⑤身近な場所での相談窓口の充実:36名 ⑥地域福祉活動を推進する地域リーダーなどの人材育成:11名 ⑦ボランティア、NPOなどの育成支援:13名 ⑧高齢者、障がい者、児童の福祉施設の整備充実:43名 ⑨その他:2名
Q32	鹿部町社会福祉協議会に対するご意見はございますか？(自由記述)
A	回答者の約1割の方に日常生活や情報発信、設備やサービスに関する様々な提案や希望、不満・指摘・感想等を記載頂いております。

5 課題の整理

第3期鹿部町地域福祉実践計画策定時と今回策定時のアンケート結果の違う点や課題、傾向や要望等をまとめてみました。

(変化している点)

- ・人口の減少と高齢化率の上昇。
- ・夫婦のみの世帯数の増加、親子孫の3世代世帯が減少。
- ・近隣住民との関係が希薄化。
- ・地域活動、地域福祉活動への関わる方の割合が減少。
- ・ボランティア活動への参加割合が増加。

(変化していない、あまり変化していない点)

- ・町内会活動やイベントの協力、趣味・サークル活動の参加割合が高い。
- ・鹿部町社会福祉協議会の知名度、広報を読まれる人の割合。

(その他)

- ・福祉全般（高齢者、障がい者、児童等）の相談窓口を充実。
- ・福祉サービス等について広く知られていない。
- ・情報の入手は広報や知人（友人）からが多い。

6 実践計画

【1】基本目標

←『地域共生社会の実現に向け福祉でまちづくりをめざす』→

多様なニーズや複雑・困難化する生活課題等に対して、住民参加による包括的な支援体制の構築に向けて全道の共通目標として設定されております。

【2】基本計画

第3期鹿部町地域福祉実践計画の評価（結果）、住民意識アンケートによる現状の課題、鹿部町社会福祉協議会が取り組むべきこと等を総合的に検討し、方向性として大きく4つ「相談援助の充実」、「支え合い活動の推進」、「高齢者の生きがいづくり」、「情報収集と発信力強化」に分類致しました。

①『相談援助の充実』

①『心配ごと相談事業の強化』

高齢者・障がい者・児童等、福祉の相談窓口を強化します。

②『権利擁護事業の利用促進』

成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用を促進します。

③『訪問介護事業等の実施』

高齢者や障がい者の在宅生活を維持する為の生活支援サービスを致します。

④『生活困窮者への支援』

一時的に生活が困難となっている方や、制度の狭間で対応が困難になっている方に対する支援を行います

②『支え合い活動の推進』

⑤『赤い羽根共同募金の実施』

地域福祉の向上と活動団体を応援する為、赤い羽根共同募金活動を実施します。

⑥『地域支え合い活動の活性化』

生活支援体制整備事業や小地域福祉活動等、支え合い文化の定着を目指します。

⑦『ボランティア団体への支援』

ボランティア連絡協議会の事務局を通じ、団体への支援を行います。

③『高齢者の生きがいつくり』

⑧『高齢者の安心と交流』

安否確認の実施や各種事業を通じ外出・交流の機会を作ります。

④『情報収集と発信力の強化』

⑨『関係機関との連携』

地域課題の収集や課題解決を円滑に進める為、行政や福祉団体等の関係機関との連携を深めます。

⑩『広報機能の強化』

社協や社協事業を広く知ってもらう為、広報活動を強化します。

7 実施計画書

		基本目標：地域共生社会の実現に向け福祉でまちづくりを				
		◎=推進 ○=継続 △=統合・縮減				
基本計画①相談援助の充実	関係機関：行政（地域包括支援センター）、介護保険事業所、生活困窮者自立支援事業所、法テラス、北海道社会福祉協議会	年次計画				
		4	5	6	7	8
	重点推進実践項目 ①心配ごと相談事業の強化					
	具体的事業 心配ごと相談事業	○	○	○	○	○
	重点推進実践項目 ②権利擁護事業の利用促進					
	具体的事業 成年後見制度利用促進	○	○	○	○	○
	具体的事業 日常生活自立支援事業	○	○	○	○	○
	重点推進実践項目 ③訪問介護事業等の実施					
	具体的事業 訪問介護事業（介護保険）	○	○	○	○	○
	具体的事業 介護予防・日常生活支援総合事業（介護保険）	○	○	○	○	○
具体的事業 居宅介護（障害者総合支援）	○	○	○	○	○	
具体的事業 自家用旅客運送事業	○	△	△	△	△	

	重点推進実践項目 ④生活困窮者への支援						
	具体的事業	安心サポート事業	○	○	○	○	○
		生活福祉資金貸付事業(北海道社協)	○	○	○	○	○
		自立支援資金貸付事業(鹿部町社協)	○	○	○	○	○
基本計画②支え合い活動の充実	関係機関:北海道共同募金会、行政(地域包括支援センター)、町内会(地域住民)、ボランティア連絡協議会		年次計画				
			4	5	6	7	8
	重点推進実践項目 ⑤赤い羽根共同募金の実施						
	具体的事業	赤い羽根共同募金運動	○	○	○	○	○
		重点推進実践項目 ⑥地域支え合い活動の活性化					
	具体的事業	生活支援体制整備事業(委託事業)	◎	◎	◎	◎	◎
		小地域福祉活動	○	○	○	○	○
	重点推進実践項目 ⑦ボランティア団体への支援						
具体的事業	ボランティア連絡協議会協力(事務局)	○	○	○	○	○	
基本計画③高齢者の生きがいの	関係機関:高齢者(独居・夫婦世帯他)、地域住民、ボランティア、行政(地域包括支援センター)		年次計画				
			4	5	6	7	8
	重点推進実践項目 ⑧高齢者の安心と交流						
	具体的事業	ひとり暮らし高齢者お楽しみ会	○	○	○	○	○
		高齢者夫婦世帯ふれあいの集い	○	△	△	△	△
		ふれあいいきいきサロン	○	△	△	△	△
		安否確認お食事サービス	○	○	○	○	○
年末独居訪問事業		○	○	○	○	○	
基本計画④情報収集と発信力の強化	関係機関:高齢者(独居・夫婦世帯他)、地域住民、ボランティア、行政(地域包括支援センター)		年次計画				
			4	5	6	7	8
	重点推進実践項目 ⑨関係機関との連携						
	具体的事業	福祉関係機関・団体等との連携強化	○	○	○	○	○
	重点推進実践項目 ⑩広報機能の強化						
具体的事業	ホームページ他による情報発信強化	△	△	○	○	△	

鹿部町地域福祉実践計画

『地域共生社会の実現に向け福祉でまちづくりをめざす』
(令和4年度～令和8年度)

発行／社会福祉法人 鹿部町社会福祉協議会

〒041-1403 茅部郡鹿部町字宮浜 210 番地 6 (宮浜児童館内)

電話 01372-7-2135

FAX 01372-7-2138